



# トヨタ看護専門学校だより

発行  
トヨタ自動車株式会社  
トヨタ看護専門学校  
発行人 稲垣春夫  
編集人 鎌田浩也

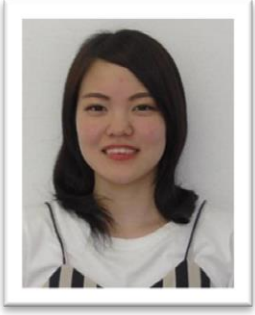


## 入学式を終えて

〜私の心構え〜

1学年（30期生）

仲谷玲音



平成28年4月6日  
入学式。私は、トヨタ看護専門学校に入学しました。看護師になるためのスタート台に立ち、期待と、これから夢に向かう3年間への不安が一緒になっていました。この日、私は1番に学校に着き、1番に教室へ入りました。

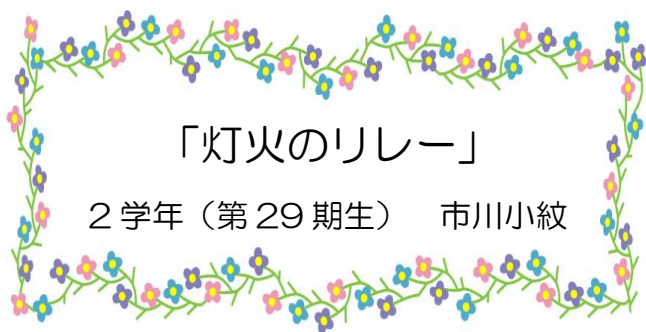
未だ誰もいない教室には、46人の机、その上いっぱい高く積み重ねられた教科書が整然と並べられていました。椅子に座り、想像以上の量と厚くたくさんの教科書を眺めながら同級生が揃うのを待っていました。次々と教室に入ってくる同級生達、もちろん顔も名前も知らない人ばかりで、互いに顔を見合ったり、軽く会釈するだけで、これからの3年間、うまくやっていけるのかと、

不安が募るばかりでした。そんな気持ちを抱えながら、入学式も無事に終わり、家に帰ってこの日1番の荷物を降ろしました。それは、50冊もの教科書。その1冊、1冊を手に取りながら、ゆっくり目を通しました。解剖生理学、病理学、心理学、成人看護学等々、看護師になるために必要な内容でいっぱい教科書がありました。看護の学びの中で大切だと

ても難しい内容でした。医学や看護学の専門書だけではなく、ベッドメイキングや体の拭き方、注射の仕方など、わかりやすい写真で示された看護技術に関する教科書もありました。部屋いっぱい広げた教科書を眺めながら、人の命を預かる看護師という仕事の重みや大変さを改めて考えることができました。そして、同時に高校生の頃抱いていた病気の患者さんを助けたいと言う漠然とした目標に、患者さんの苦しみを少しでも和らげ、勇気づけたり励ましたり、患者さんだけでなくご家族の不安も取り除く心のケアができる看護師になりたいという目標が加わり、少し変わったような気がしました。そして入学から2ヶ月

が過ぎ、私が考える看護師になるためには、日々の勉強や技術練習はもちろん、授業のグループワークや教科外活動、毎日の学生生活を通じ、人との関わりの中で、コミュニケーションをしっかりとること、正しい言葉遣い、目上の人に対する態度などを身につけていかなければならないと強く思い直しました。特にトヨタ看護専門学校は、マナーにも厳しい学校です。学校内だけでなく人とすれ違ふときは、必ず挨拶をすること、看護衣を着るときは髪型、髪の色、爪の長さに注意を払うことなど、今まで行ってこなかった点を意識することの大切さを教わり、日々の学生生活が、人として成長するための勉強になっています。

課題も徐々に増え始め、看護学生になった実感が湧いてきました。その課題の量も多く、こなしていくのはすごく大変です。与えられた課題を一つ一つ提出していくことが今後の励みにつながると信じ、日々努力し、充実させていきたいです。入学式の日に心に決めた目標の看護師像に少しでも、1日でも、早く近づいていけるよう、これから3年間、自分に厳しく頑張っていきたいと思います。



## 「灯火のリレー」

2学年（第29期生） 市川小紋



平成28年4月22日、私たち29期生は新2年生になり、灯火のリレーに参加しました。ちょうど1年前の4月、新入生として先輩方の灯火のリレーを体育館の隅から見学し

た時、蝋燭の映し出す幻想的な雰囲気と、厳かな空気を感じ、観ているだけで緊張し、体がこわばっていたのを覚えています。入学したばかりの私たち一人一人に、優しく話し掛けてくれた先輩方が、憧れの看護衣を纏い灯火を手にした姿は、とても凛々しく輝いてみえました。その姿を見て、私も先輩方のようにこの学校で成長し、次はあの場に立ちたいと強く思ったことを覚えていきます。あれから早くも1年が経ち、今度は私たちが先輩から灯火を受け、リレーする役となりました。先輩方からつなげられた灯火を見つめ、私の1年間をゆっくり振り返りました。学びは、座学や学内演習、また基礎看護学1期実習など、

入学前に想像していた内容を越え膨大な量とスピードで進んで行き、毎日毎日があっという間に過ぎていきました。そんな中でも、クラスメイトと互いの悩みや不安、わからないことをぶつけ合い、辛いときは励ましあい、楽しいときは笑いあったこともありました。この1年間は、学びだけでなく、クラスの仲間意識も高まりました。



時間はあっという間に過ぎていき、毎日の生活がとて濃く、充実し、これまで経験した事の無い達成感も味わいました。楽しみに

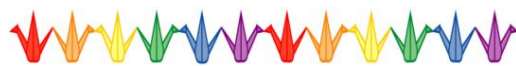
していた基礎看護学1期実習では、初めて患者様と関わり、コミュニケーションの難しさや看護の知識、技術の不足を痛感しました。5日間という短い期間でしたが、患者様への最善の援助とはどうすれば良いか、どうしたら患者様やご家族とのコミュニケーションが円滑に行くのかなど、多くの課題に毎日悩み考え続けました。実習を経験したことで学校での授業がどれほど重要か、基本的な援助技術を身につけることが安全と応用につながるのかが分かり、改めてその大変さを実感しました。患者様のことを真剣に考え、また患者様の毎日の状態に一喜一憂する日々は、大変なことばかりでしたが、それ以上に看護学生と

して大きく成長させて  
頂いたことを嬉しく思  
いました。

私が入学前に抱いて  
いた看護への憧れは、  
とても漠然としたもの  
でした。しかし2年生  
になった今、さらに看  
護師としての理想的な  
姿や、成長への思いが  
具体的になってきたよ  
うに感じ、改めて学ぶ  
こと一つ一つに日々  
新鮮さを感じています。  
私は「灯火のリレー」  
を伝えて、初めて本当  
に看護学生としてスタ  
ートを切ったように感  
じます。何も知らなか  
った1年次とは違い、  
2年次は今までの知識、  
技術を応用していきま  
す。1年間で得た知識  
と技術、また1期実習  
の経験を土台として、  
これからどのように学  
習していくのか、どん  
な風に実習に生かすの

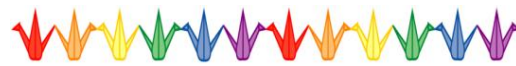
かによって、学生生活  
に大きく影響していく  
と思います。

もうすぐ29期生は基  
礎看護学1期実習が始  
まります。1期実習は  
1期実習のような援助  
に加えて、患者様のア  
セスメントも必要とな  
り、更に難しくなって  
いきます。不安や様々  
な重圧に押しつぶされ  
そうになることがある  
と思いますが、灯火の  
リレーでの誓いを思い  
出し、クラスメイトと  
励ましあいながら精進  
していききたいです。



## ボランティアを考える

1学年(30期生) 千原智子



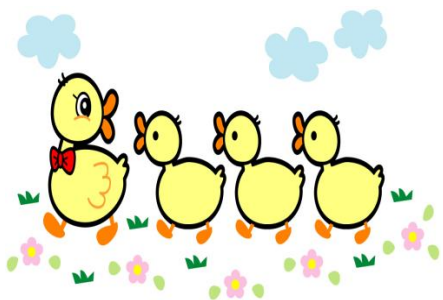
私達は、4月12日、  
教科外活動として、豊  
田市社会福祉協議会の  
方から「ボランティア  
の勧め」と題しボラン  
ティアについて考える  
機会をいただきました。  
そこでは、「しあわせ」  
や「ゆたかさ」を現し  
ている「福祉」という  
言葉本来の意味や、自



主性、社会性等といっ  
たボランティアの5原  
則など、基本的なこと  
や、今まで知らなかつ  
た知識を学んだだけ  
はなく、自分達が何気  
なく暮らしてきた街や、  
そこでの生活を振り返  
って考える大変良い機  
会になりました。

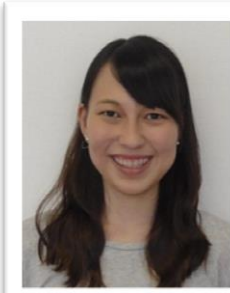
「福祉」を構成する  
二つの漢字は、どちら  
も「しあわせ」という  
同じ意味があるという  
事を教わり、これまで  
私は福祉とは介護が必  
要な方や、障害を持っ  
ている方に、特別な関  
わりのある言葉として  
捉えていて、身近には  
直接関係のない言葉の  
ような気がしていました。  
しかし、福祉とは  
「ふだんの、くらしの、  
しあわせ」という意味  
があり、日常生活を不  
自由なく過ごしている  
私にとって、とても身

近な言葉である事、そ  
して、そのような生活  
ができているからこそ  
改めて日々、その事に  
感謝をし、豊かさ、幸  
せを感じる事ができ  
るのだと思い直しまし  
た。このように考えて  
みると、これまで簡単  
に使っていたり、聞いて  
いたりしたボランテ  
ィアという言葉の響き  
がとても深く伝わって  
来て、ボランティアは  
身体に不自由のある方  
や生活に困っている方  
だけが対象となるだけ  
でなく、私たちの暮ら  
しや、社会全体を豊か  
にする為の無償の行動  
である事が少し理解出  
来ました。これまでお  
金や時間に余裕がある  
人、専門的な知識があ  
る人の特別な活動がボ  
ランティアだと思っ  
ていましたが、今回のお  
話をうかがって、誰し

もが思いやりの気持ちを持って身近な人の役に立つ事がボランティアの第一歩となると考え直し、微力ながら私も自分から進んで出来る事、簡単な事から困っている人の役に立ち、その事で少しでも社会が豊かになれば良いと思います。私が目指している看護の仕事にも、このボランティアの精神と同じ考えがあるとあります。私も機会があれば人の役に立つ活動に参加してみようと思っています。



 交流会「明治村」に参加して  
3学年（第28期生）  
長崎未来 



平成28年4月28日、待ちに待った交流会。全ての教員、学生が参加し「博物館明治村」に行ってきました。各学年、教員との相互で交流を深めることを目的にした1年に1度の大イベントです。交流会は、私が毎年楽しみにしている学校行事の一つで、3年生の私にとっては最後の行事

でもあり、明治村での1日をグループ単位で過ごします。今回のグループは、教員1名、3年生4名、2年生3名、1年生5名、計13名の構成です。毎年、グループメンバーが誰になるのかも楽しみの一つで、その意気込みによって交流会1日の盛り上がりや成果が決まります。

他学年との交流では、それぞれの不安や悩みを聞き、最上級生の立場を自覚することができました。また、技術試験の失敗や、初めての実習で感じるコミュニケーションの難しさや、過去の自分を思い起こしました。

1年生の頃は、夢である看護師になるために看護学校に入学できたことの喜びや、慣れない寮生活、学校生活への不安、初めて耳にする専門用語や看護学の課題に圧倒され、期待よりも不安でいっぱいでした。2年生になり、看護過程が始まると、看護師に一步近づいたと思える技術の習得が増える反面、自分の力不足や夢への不安を感じ、葛藤する日々でした。

後輩の話を聞くまでは、「1・2年生の頃は大きな壁を感じることも無く前向きに取り組むことが出来ていた」と思っていました。しかし、今思えば、いろいろな山を乗り越えてきました。その時はその時にしかない苦しみを感じながら自分なりにここまで来たのだと思いい、後輩と会話をする中で、2年間の自分を振り返る良い機会と

なりました。

そして、普段、先生方との接する機会は、実習・学習の指導や助言をいただく時だけでしたが、交流会の場で一緒に食事を摂り、一緒に時間を共有する事で、普段の先生方とは思えない新たな一面を知ることができました。互いにこれまでとは違った会話をし、学校の中だけでは出来ない関係性を築くきっかけとなりました。

交流会で経験した事は、私の大切な思い出になりました。今回の交流会で感じた、会話を通じて思いを伝え合うコミュニケーションと、あらためて気づくことのできた自分自身の成長を、今後に生かし、1日1日を大切に頑張っていきたいと思っています。

## 基礎看護技術の習得に向け、練習開始

1学年（30期生） 森井彩夏



この学校に入学して  
僅か1か月、基礎看護  
技術習得に向け、早く  
も実技練習が開始され  
ました。患者さんにと

ってより快適に、治療  
・療養できる環境を作  
るため、正しいベッド  
メイキングの方法を学  
び、日々その練習に励  
んでいます。



これまでは、教室で  
テキストや教材を使っ  
てベッドメイキングの  
基礎知識を学び、ベッ  
ドは患者さんにとって  
安全で快適な環境にな  
るよう整えることが大  
原則と教わり、そのた  
めには、療養中にしわ  
ができるのを防ぎ、崩  
れにくいベッドを作る  
必要がある事を学んで  
きました。シーツにし  
わがあると、景観や快  
適性を損なうだけでな

く、長期の臥床を強い  
られる患者さんにとっ  
て褥瘡の原因ともなり  
うるためです。

それを踏まえ、実技  
として確認し、習得し  
ていく「演習」は、や  
っと看護師らしいこと  
が出来ると胸を躍らせ、  
最初は緊張しながら手  
順を一つ一つ確認し、  
時間もかかりました。  
しかしそれは、自分が  
思っていた以上に難し  
く、習得には至らず、  
とても長い時間と努力  
が必要であると、身を  
もって知らされました。  
その技術を習得する為  
には、朝早く学校に行  
き、授業前や放課、授  
業後など、空いている  
時間を全て使って練習  
する必要がある、大変  
な毎日を送っています。  
毎日練習をしながら、  
その取り組みを反省し  
てみると、ベッドメイ

キングは、見た目がき  
れいなだけでなく根拠  
に基づいた方法で、手  
早くベッドを作成しな  
ければならない事に気  
付かされました。しか  
し、実際にやってみる  
と、頭では分かってい  
ても三角コーナーがう  
まく出来なかったり、  
張りがなく弛んでいた  
り、ベッドを整えるま  
で時間がすごくかかっ  
たりと実技をする度に、  
自分の課題が出てきま  
す。



試行錯誤を繰り返し、  
同じグループのメンバ  
ーと一緒に出来栄を  
評価し、アドバイスを  
交わすことで、少しず

つ納得の行く出来栄え  
になっていきました。  
努力を重ねる事で少  
ずつですが上達し、自  
分が看護師に少し近づ  
くことが出来たと思  
うととても嬉しかった  
です。

もちろん、ベッドを  
ただきれいに作成する  
だけが看護師の仕事で  
はない事は分かっています。  
患者さんへの気  
配りや安全に行うため  
の確認も重要になって  
いきます。実際、練習  
をしている基礎実習室  
は、取り扱う物品は同  
じでも、臨床現場とは  
違っていて、その場の  
雰囲気も、異なってい  
ます。当然患者さんは  
そこには居ません。臨  
地実習に行つて戸惑い、  
焦ってしまわないよう  
にするには、どれだけ  
その現場を想定し、実  
技が出来るかにかかっ

てくると思っています。隣のベッドを想定し、患者さんに対しての声掛けは、実際にその場に患者さんがいると思っ  
て行い、自然と腰を落  
とし、目線が出来るだ  
け同じ高さになるよう  
意識して動くことが大  
切だと思いません。また、  
日々の指さし確認を徹  
底して行い、繰り返し  
ことよって身に付き、  
意識しなくても自然と  
行動することが出来る  
ようになっていくと思  
います。

これからもベッドメ  
イキング以外に、数多  
くの演習に取り組みこ  
とになります。一つ一  
つの演習を大切にし、  
座学で習ったことをし  
っかり反映させ、臨床  
でも通用する技術を身  
に付けていけるよう、  
日々精進していきたい  
と思います。



平成28年6月24日、  
私たちはトヨタ看護専  
門学校の卒業生として  
トヨタ記念病院の小児  
科で働いている先輩の  
お話を伺うことがで  
きました。お話は、「7  
月1日から始まる中期  
実習について」「今後の  
実習について」「国家試  
験に向けての学習方法」  
「学校生活」について  
と多岐にわたり、学生  
生活の参考になる貴重  
な内容ばかりでした。

特に、実習についてのお話  
では、事前の知識、技術など学  
びの大切さや、それを活用す  
ることで個性を追求した  
援助計画の立案につな  
げることが出来ること  
等、具体的に教えてい  
ただきました。また、  
実習に挑む姿勢として、  
自分の看護師像を  
しっかりと持ち、分  
らないことをそのまま  
にせず、1度自身で調  
べ考えた上で、自分の  
意見としてまとめ、指  
導者の方に伺うなど、  
何事にも主体的な取  
組みにより、先ず声  
を出すから始める態  
度の大切さも教えて



いただきました。実習を行  
うにあたり、学生を受け  
入れていただく患者  
様がいること、病院の  
スタッフや指導者の方  
々、学校の先生方の支  
えがあってこそその実  
習であり、貴重な機会  
を頂いているというこ  
とを忘れずに、7月  
からの実習に取り組ん  
でいきたいと思いま  
した。そして、実習  
で学んだ疾患や技術  
は、看護師になるた  
めの実力となり、  
国家試験にも役立  
つと教わり、大変  
励みに感じました。

国家試験への取  
組みについては、  
先輩方が受験  
対策で使用さ  
れていた参考  
書を実際に  
手に取って  
見ることが  
でき、どの  
ように勉強  
をしていた  
のか教えて  
いただきました。  
その参考書  
には、たく  
さんの付箋  
や書き込み  
があり、合  
格し看護師  
になるため  
の努力の証  
として、そ  
の質と量の  
多さを感じ  
、自身の学  
習方法を  
1から見直  
さなければ  
と思いま  
した。加  
えて、模  
擬試験の  
振り返り  
方法につ  
いても詳  
しく教え  
ていただき  
ました。模  
試を受ける  
際は、間  
違った問  
題は、曖  
昧な知識  
で解答し  
たと思っ  
た問題も  
ひらき上  
げておく  
ことで、  
振り返り  
がしやす  
くなるこ  
とや、問  
違えた問  
題は、参  
考書に追  
記し、理  
解するま  
で調べ直  
す

ことで知識の幅が広がり、類似した問題にも対応できることを教えていただきました。

学生生活の過ごし方として印象に残った事は、多くの課題はそれぞれ意味があることと理解し、自分の中で昇華することで、実習や国家試験に必ず役立つと強調された事でした。また、先輩、後輩、先生とのコミュニケーションも将来看護師となり、医療チームの一員として様々な職種の人達と働く際に、必要な力であることを教えていただき、相手の立場に立った話し方や態度など、学生生活を通じて学びが大切な事だと改めて教わりました。

今回のお話しを聞いて、実習への心構えや、国家試験の学習方法、学生生活など、看護師

になるために必要となる基本を学ぶことができました。目前に迫る基礎看護学Ⅰ期実習では、自分の看護師像をしっかりと持ち、日々実習に取り組んでいきたいと思えます。

## 三年生になって

3 学年 (28 期生)  
岩月亜沙美



トヨタ看護専門学校に入学して、早いもので2年余が経過しました。今までの学校生活

を思い返すと、学業や実習についていけなくなるのではないかと不安だった気持ちや、患者さんとの関わりの中で笑顔が現れ、嬉しく思った気持ち、クラスメイトと寮で語りあったことなど、たくさん

の思い出が蘇ります。その中でも実習で足浴や洗髪の援助を行っている時に、患者さんの笑顔が私に注がれているのに気付いた瞬間の感動は、今でも忘れられません。人を笑顔にできる看護の魅力を肌で感じる事ができました。

それまでの私は、自分の知識や技術の不足を痛感し、苦しんでいる患者さんに対してスムーズな援助を行えずに歯がゆい思いをしてきました。しかし、先生方や指導者さんから

の助言を頂き、メンバー間で意見を出し合いながら少しずつ成長できてきたと思っております。2年生の終盤から始まった専門領域の実習では、分野ごとで必要となる知識や技術を学んでいます。

それまでの実習や学科で学んできたことを糧として、今後の実習では患者さんと接する貴重な時間を大切に、患者さんから頂いた感動の恩返しをしたいと思っております。そのためには、実習に向かうための事前学習や、受け持ち患者さんの病態を理解し看護計画を考える事、そしてグループ内で積極的に学び、カンファレンスで共有することで知識を深めていく事が重要だと考えています。いつでも初心を忘れず、その心

構えで実習に取り組んでいきたいです。

12月までの専門領域実習が終わると、すぐに最終ハードルの国家試験が待っています。

私は模試の点数が取れていても実力として感じる事ができず、自信が持てないため、合格できるのか不安になる時があります。繰り返し行われる試験対策を通して少しでも自信が持てる様に残された時間を有意義に使って頑張りたいと思っております。

目標を達成するためには、自分の苦手な分野を意識し、その傾向と対策を考え、取り組んでいくことが大切だと考えています。その中で先生方は、模試後に振り返る時間をくださり、自分自身で気付くためのきっかけをつ

くっていただき、個別の面談で私たちを力強くサポートしてください。私は、子供との関わりは好きですが、小児看護学分野が苦手です。それに気付かせてくださったのも先生方のごお言葉です。先生方の期待にこたえる為にも精一杯頑張りたいです。

3年生の実習が始まり、思う事があります。私が、下級生の頃、先輩はいつも凛々しく、そして頼もしい存在で、自分が忙しい中でも困っている私に対して優しく声を掛けてくださり、不安に負けそうない時には励ましてくださいました。先輩方のおかげで折れそうになった気持ちを立て直すことができていました。3年生になった今、その時の気持ちを思い出

し、私自身が憧れた先輩に近づけるようになりたいと思っています。下級生に声を掛けたり、相談に乗ったりしながら、下級生の見本となる上級生になるために頑張っていこうと思っています。

## 新任職員 挨拶



近藤 めぐみ先生

平成28年5月より実習指導教員として赴任しました。本校卒業後約20年、トヨタ記念病院で主に外科系病棟で勤務してきました。

さまざまな部位の周手術期の患者様とその家族と接することで、手術に対する不安と期待に寄り添う看護の必要性とそして回復過程を近くで看ることの看護の喜びを感じることが多くありました。今回再び看護学校へ赴くことになり、自分の学生時代との変化に驚きながら、やっと2か月経過しました。まだ慣れないことが多くありますが、私が経験した看護の楽しさと社会人としての厳しさを少しずつ伝えていきたいと思っています。また、私も看護師となって働く中で母となり、学生に対しては時には母のように優しさと厳しさを持って接していきたいと思っています。

突然ですが、私は今、パン作りにはまっています。

ます。就職して以来の初めての趣味で休日は子ども達と奮闘しています。学生さんの中でパン作りが得意な人がいたら教えてください。

学生時代はたった3年です。今思うともっと勉強しておけばよかったと後悔することも多くありました。自分の足りないことを指摘してくれる存在はとっても貴重であったと思います。看護を学び、患者様にとって良い看護師になれるようお互いに頑張りましょう。



3月より、トヨタ看護専門学校へ異動しました、東です。以前はトヨタ記念病院で事務をしていました。



事務 東 薫

学校の事務は初めてですが、特に資格をもらっていない私が、学生さんの成長をこんなに近くで見守れる事はとても嬉しく、楽しみに思っております。看護の事は何も教えられませんが、皆さんの学校生活が充実したものであるよう、お手伝いさせていただきます。

